

# 斑鳩町下水道事業経営戦略ロードマップ

## 1. これまでの主な経営健全化の取組

下水道事業では、水洗化に係る加入促進を始めとして、経常経費の縮減、財政運営の見直し等、経営健全化に向けた取組に努めてまいりました。

しかしながら、未だ一般会計からの総務省基準における繰出基準外の繰入金に依存せざるを得ない状況にあります。

## 2. 経費回収率向上に向けたロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進」に基づき、経費回収率向上に向けたロードマップを以下に示します。

経費回収率向上に向けて、経営戦略の見直しに併せて、下水道使用料の在り方を検討し、一般会計部局と協議を行い、改定の有無を決定していきます。

|        | R5     | R6    | R7 | R8 | R9 | R10    | R11   | R12    | R13 | R14 | R15 |  |
|--------|--------|-------|----|----|----|--------|-------|--------|-----|-----|-----|--|
| 計画期間   | 当初計画   |       |    |    |    |        |       | 第1回改定分 |     |     |     |  |
| 改定作業   | 第1回改定分 |       |    |    |    | 第2回改定分 |       |        |     |     |     |  |
| 使用料の検討 | ◎      |       |    |    |    | ◎      |       |        |     |     |     |  |
| 経営戦略改定 |        | 第1回改定 |    |    |    |        | 第2回改定 |        |     |     |     |  |

### 3. 業績目標

ロードマップに従い、経費回収率向上に向けた業績目標を以下に示します。

単位：百万円

|            | R5    | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   | R13   | R14   | R15   |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 経費回収率(a/b) | 77.9% | 80.3% | 80.4% | 82.1% | 83.7% | 85.2% | 86.5% | 87.7% | 88.8% | 89.9% | 90.8% |
| 使用料収入(a)   | 165   | 172   | 175   | 180   | 185   | 189   | 193   | 198   | 201   | 205   | 209   |
| 汚水処理費(b)   | 212   | 214   | 217   | 219   | 220   | 222   | 224   | 225   | 227   | 228   | 230   |
| 普及率        | 71.0% | 72.7% | 75.1% | 76.4% | 77.8% | 79.2% | 80.6% | 82.0% | 83.4% | 84.8% | 86.3% |
| 水洗化率       | 76.2% | 75.7% | 76.2% | 77.0% | 77.6% | 78.1% | 78.5% | 78.8% | 79.1% | 79.3% | 79.5% |

#### ア. 実施予定時期

令和6(2024)年度～令和15(2033)年度(10年間)

#### イ. 経費回収率向上に向けた具体的な取組み

①令和24年の整備完了に向け、要望の高いエリア選定を検討し、費用対効果の高い整備を目指します。

・当町の下水道事業は供用開始から30年を経過していない整備途上の段階にあり、整備の進捗に伴う普及率の上昇に合わせて、経費回収率についても高まると見込んでおります。

・想定される効果：人口減少傾向にあるものの、使用料収入は着実に増加しており、収益的収入については、一般会計からの補助金の額は減少傾向にあります。

②下水道使用料については、5年に1度、経営戦略の進捗確認・改定を踏まえ、検討します。

・供用開始から30年が経過する令和7年度までには経費回収率が80%を超え、さらに今回の計画終了年度の令和15年度には90%を超える見込値となっていることから、使用料にかかる今回の検討では、現在単価に据え置くこととします。なお、引き続き接続要望の高い地域を優先して整備を行うとともに、速やかな接続による使用料収入の増加を図り、更なる経費回収率の向上を目指します。

・次回検討時期：令和10年度 ※2.経費回収率向上に向けたロードマップより

③外部の有識者の支援を受けつつ効率的な財政運営を図り一般会計繰入金の削減を目指します。

・想定される効果:より効率的な財務処理・会計処理の提案を受けることにより、一般会計からの繰入額の抑制を目指します。なお、下水道建設を集中的に行っていた時期に借り入れていた企業債の償還金が減少傾向に入ることから、資本的支出が減少する見込みです。また収益的支出については、減価償却費が引き続き増加していく見込であることから増加傾向にあるものの、一般会計からの繰入金については、令和9年度より基準内繰入で充足する見込です。(収益的収支における一般会計繰入金令和6年度110,000千円、令和15年度70,556千円)

#### 4. 進捗管理と経営指標

経常収支比率が100%を超える安定的な事業運営に努めるとともに、本経営戦略の取組みを確実に実施するために、以下のとおり経営指標を定め、今後5年毎に見直しを行います。

単位：百万円

|                         | R5  | R6  | R7  | R8  | R9   | R10  | R11  | R12  | R13  | R14  | R15  |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 経常収支比率(a/b)<br>※基準外繰入除く | 97% | 98% | 98% | 99% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 経常収益(a)                 | 686 | 702 | 711 | 728 | 740  | 746  | 751  | 756  | 762  | 767  | 773  |
| 経常費用(b)                 | 708 | 718 | 729 | 734 | 739  | 745  | 750  | 755  | 761  | 766  | 772  |